

年金受給世帯の保有資産とその構成

高 山 憲 之
有 田 富 美 子

はじめに

今後の年金改革においては世代間の生活バランスをどのように保っていかかが重要となっている。生活バランスという場合、従来であれば所得や消費などのフローで比較するというスタイルが一般的であった。

しかるに近年、東京圏を中心にして地価が急騰した。その結果、サラリーマンが一生働いても勤労所得だけで東京圏にマイホームを手に入れることはほとんど不可能となった。ストックの存在を無視することはこの意味において適切でなくなりつつある。

年金受給者はストックの保有という点では一般に若年

層や壮年層よりはるかに恵まれている。フローを基軸とする公平観念に揺らぎがみられる今日、世代間の生活バランスをみきわめるためには保有資産がどうなっているかについても調べる必要があるのではないだろうか。

本稿では年金受給世帯の資産保有状況を調べる。資料は昭和五九年に実施された総務庁統計局『全国消費実態調査』である。考察の対象は、世帯主が六〇歳以上の男子であり、かつ年金を受給しながら妻と二人で生計を営む世帯（以下、「高齢夫婦世帯」と呼ぶ）に限定されている。

高齢夫婦世帯の経済的側面については、すでに高山・有田「経済面からみた年金受給世帯の生活実態（I）」

(II) 『一橋論叢』昭和六二年六月号・七月号、で考察を試みた。本稿はその続編である。したがって高齢夫婦世帯の特性や用語等については本稿では説明しない(前稿参照)。なお本稿では、現実がどうなっているかを知ることにはエネルギーを注ぎ、事実の評価や政策へのつなぎの問題は議論しない。後者の問題は別の機会に改めて取り上げたい。⁽¹⁾

(1) 本稿の基礎になった研究に対して文部省科学研究費補助金(一般研究C——課題番号62530024)を受けた。記して謝意を表する次第である。

一 高齢夫婦世帯の保有資産とその分布

高齢夫婦世帯のサンプル数は三〇五五である。⁽²⁾母集団は全国ベースで約一八八万世帯と推計される。

(2) 前稿ではサンプル数三〇六六であった。資産項目等の記載に不備があるデータを除いて本稿では考察している。

本項では資産項目として、年金資産・耐久消費財ストック・土地・住宅・貸貸用実物資産・金融資産、の六つを取りあげる。年金受給者の中には貸金を稼いだり事業

を営んだりして収入増を図っている者が少なくない。しかし本稿では六〇歳以上の年金受給時に稼ぐこのような人的資産については考察しなかった。

右の資産項目のうち『全国消費実態調査』から直接に入手可能なデータは金融資産(貯蓄現在高から負債現在高を控除した純額ベース)のみである。他の項目はいずれも推計が必要であった。その推計方法の詳細については高山・舟岡・大竹ほか「日本の家計資産とその構造」『経済分析』(経済企画庁、近刊)を参照されたい。ここでは簡単な説明だけにとどめておく。

年金資産は、現在受給中の年金・恩給(および将来受給予定の遺族年金・遺族恩給)を男子は七八歳、女子は八二歳まで受給すると想定して推計した。割引率と被用者年金のスライド率は等しいと仮定する一方、国民年金は物価スライドのみとし、割引率はCPIの上昇率より年率で一・八%高いと想定した。なお便宜上、年額五〇万円未満の年金を国民年金と仮定した。

耐久消費財ストックは、耐久消費財保有数量と購入時期のデータを基にして、別途推計した平均単価を利用してながら定率法で時価相当額を推計した。なお本稿ではゴ

(23) 年金受給世帯の保有資産とその構成

ルフ等のストッククラブ会員権を除外している。

土地は、住居の延べ面積を基にして、別途『建築動態統計』『住宅統計調査』から地域別・建物の構造別・建て方別・建築時期別に容積率を推計して敷地面積を求め、それに国土庁『地価公示価格』（昭和六〇年一月一日現在）を掛けてストック価額を推計した。公示価格は時価の七割程度という見方もあるが、ここでは、その値を基本的にそのまま利用した。

住宅は、住居の延べ面積に建築費を乗じ、さらに定率法で減価償却分を計算しストックの時価を求めた。

賃貸用実物資産（土地・住宅）は、年間収入欄の「家賃・地代」を基にして、別途『住宅統計調査』から民営借家・アパートの資産収益率を都道府県別に求め、その逆数を乗じてストック評価額を求めた。

第1表は、高齢夫婦世帯の保有している昭和五九年現在の資産額を世帯主の年齢階層別に平均値・中央値・最頻値（いずれも昭和五九年価格表示、非保有者込み）などで示したものである。一見して明らかのように高齢夫婦世帯の保有している年金資産（給付現価）は、ずばぬけて大きい。中央値をみると、六〇歳代前半で四四〇〇万

円、六〇歳代後半で三四〇〇万円、七〇歳代前半で二三〇〇万円、七五歳以上で一二〇〇万円となっている。土地の保有額が昭和五九年現在で年金資産額を全体として上回っているのは七五歳以上になってからである。

他方、耐久消費財ストックや住宅（建物）価格は年金資産や土地価額とくらべると、オーダーがヒトケタ違っており、中央値で一〇〇万円前後（非保有者込みの値）にすぎない。また賃貸用実物資産も保有者がそれほど多くない（六〇歳代で一五%弱、七〇歳以上で二〇%強）ので、非保有者を含む評価額は平均値で三四〇〇～六〇〇万円程度である。

土地と金融資産は平均値・中央値・最頻値がそれぞれ大きくちがっており、平均値のみでは話が通らない。土地保有額は中央値で一六〇〇万円前後、平均値で二一〇〇万円強、最頻値六〇〇～一二〇〇万円となっている（六五歳以上）。評価の時点は昭和六〇年一月一日であり、近年の地価高騰分はほとんど含まれていないといっている。そのためか、この時点では土地ストックの保有額は全体として若年・壮年層でも何らかの形で取得することが可能な範囲にとどまっていたと思われる⁽³⁾。したがって

第1表 高齢夫婦世帯の資産保有額 (昭和59年価格)

世帯主の 年齢(歳)	資産項目	平均値 (万円)	中央値 (万円)	最頻値 (万円)	変動係数 (%)	調査世 帯数	推計世帯 数(1,000)
60—64	①	4,168	4,412	4,750	47	990	576
	②	149	134	87.5	52		
	③	1,877	1,385	700	113		
	④	294	156	75	117		
	⑤	341	0	0	425		
	⑥	1,012	671	50	136		
	家計資産	7,840	7,276	6,750	53		
65—69	①	3,306	3,370	3,750	46	994	640
	②	129	111	87.5	57		
	③	2,132	1,636	700	99		
	④	229	126	75	126		
	⑤	434	0	0	381		
	⑥	1,028	714	350	112		
	家計資産	7,258	6,681	6,750	57		
70—74	①	2,346	2,291	2,250	55	680	413
	②	112	93	62.5	58		
	③	2,191	1,613	1,100	103		
	④	200	117	75	122		
	⑤	604	0	0	427		
	⑥	953	603	150	114		
	家計資産	6,407	5,301	3,250	72		
75以上	①	1,343	1,213	750	69	391	246
	②	98	81	62.5	64		
	③	2,143	1,542	900	106		
	④	217	108	75	127		
	⑤	561	0	0	315		
	⑥	878	512	150	131		
	家計資産	5,240	4,220	4,250	80		

注) ①年金資産, ②耐久消費財ストック, ③土地, ④住宅, ⑤賃貸用実物資産, ⑥金融資産(純残高).
資料) 総務庁『全国消費実態調査』(昭59)など.

(25) 年金受給世帯の保有資産とその構成

て、この時点では土地に着目して世代間の保有資産格差をあえて議論する意味はほとんどなかっただろう。ただし公示価格に関する昭和六三年調査のデータが利用できれば、東京圏に在住している年金受給世帯の土地保有額が現在、全体として年金資産と比肩しうるようになっていくかどうか、あるいは年金資産をすでに大きく上回っているかどうかを確認することができる。

(3) ただし東京都に存在する高齢夫婦世帯に着目すると、土地保有額は昭和五九年末の段階で平均値五〇〇〇万円前後、中央値三〇〇〇万円台となっている(土地保有世帯のみの場合)。

一方、金融資産の保有額は平均値で一〇〇〇万円前後、中央値で六〇〇万円前後、最頻値一〇〇〜四〇〇万円である。

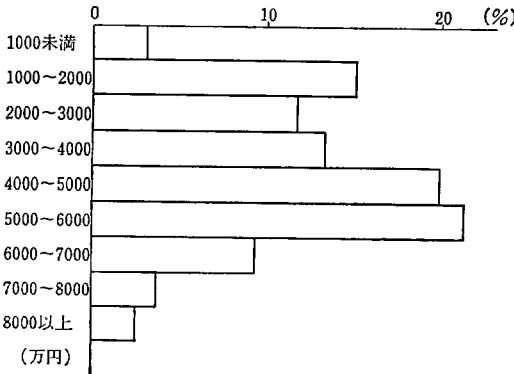
家計資産全体としての保有額は六〇歳代前半で七三〇〇万円前後、六〇歳代後半六七〇〇万円程度、七〇歳代前半五三〇〇万円、七五歳以上四二〇〇万円(いずれも中央値)となっている。

資産保有額の分布は一般にばらつきが大きい。第1表には変動係数の値が示されている。この値は資産推計の

過程で各種の平均値・中央値を利用したので、実際の値よりはるかに小さい値となっている。ちなみに耐久消費財価格・市郡部別の地価・建築費・容積率・賃貸用実物資産の収益率・年金受給年数等はいずれも平均値ないし中央値を利用した。この点注意を促したい。

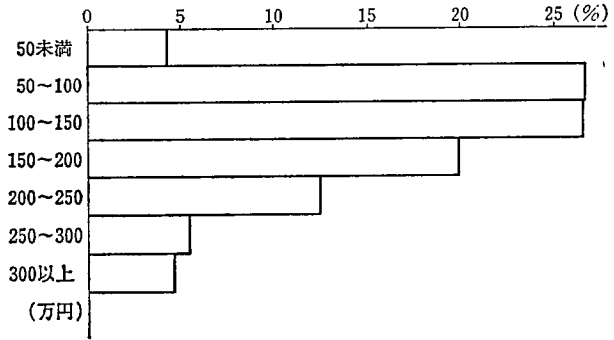
推計された資産保有額の分布状況を以下、図で示すこ

第1図 年金資産の推計額(昭和59年)



注) 高齢夫婦世帯(60歳代前半層), 昭和59年価格, 以下同様。

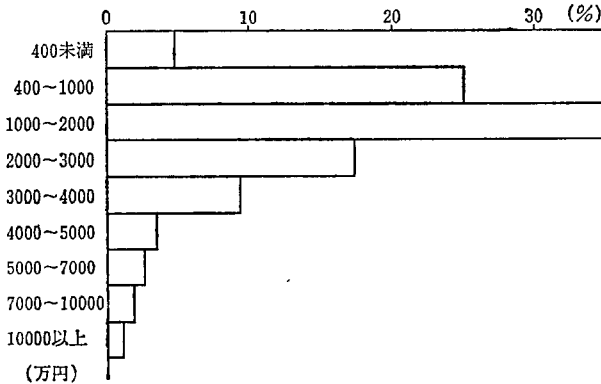
第2図 耐久消費財ストック推計額 (昭和59年)



とにしよう。ここでは六〇歳代前半層の資産分布を調べることにする。

第1図は年金資産額の分布である。三〇〇〇万円未満がほぼ三割いる一方、六〇〇〇万円以上が一五%にも達

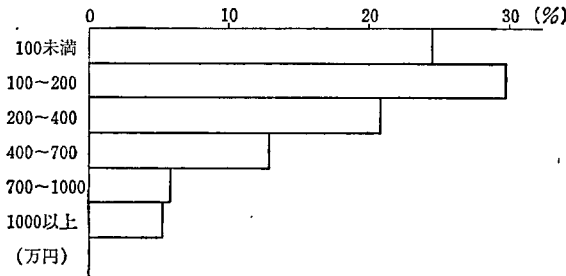
第3図 土地資産の保有額 (昭和59年)



して、ばらつきがきわめて大きい。中には八〇〇〇万円を超える世帯も二・五%ほどある。四〇〇〇~五〇〇〇万円台が比較的多く四割強を占めている。耐久消費財ストック保有額の分布は第2図に示されて

(27) 年金受給世帯の保有資産とその構成

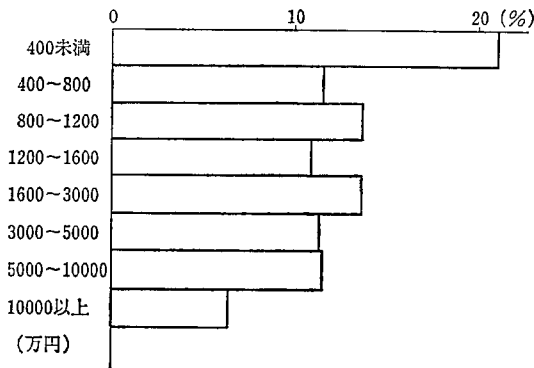
第4図 住宅（建物のみ）のストック評価額（昭和59年）



いる。五〇〇一五〇万円の階層が五三%強を占める一方、三〇〇万円以上は五%弱にすぎない。

第3図は土地保有額の分布（保有者のみ）である。六〇歳代前半層の場合、土地を保有していない世帯の割合は八・二%にすぎない。保有世帯のみをとりだすと、三

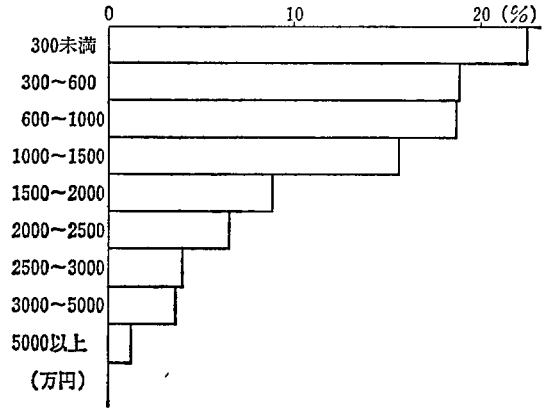
第5図 賃貸用実物資産のストック推計額（昭和59年）



〇〇〇万円未満が八二%を占めている。土地資産額一億円以上は一%にすぎない。六〇〇一〇〇〇万円の階層が二割弱、一〇〇〇万円台が三分の一強となっている。

住宅（建物のみ）資産保有額の分布（保有者のみ）は第4図に示されている。持家を保有していない世帯の割合は七・四%にすぎない。保有世帯だけに着目すると、

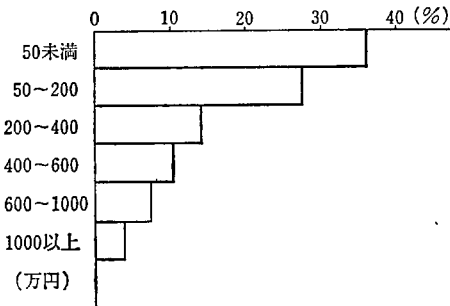
第6図 貯蓄現在高 (昭和59年)



一〇〇万円未満が二五%、二〇〇万円未満が五四%、三〇〇万円未満が六六%、四〇〇万円未満が七五%、五〇〇万円未満が八〇%となっている。一五〇〇万円以上は一・六%にとどまる。

第5図は賃貸用実物資産保有額の分布(保有者のみ)である。この資産を保有している世帯の割合は六〇歳代

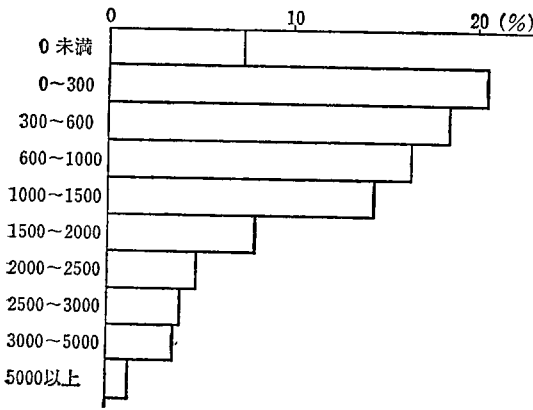
第7図 負債現在高 (昭和59年)



前半層では一三%にすぎない。保有世帯のみをとりだすと、平均値二六〇〇万円強、中央値一三六〇万円であり、変動係数は一二%となっている。ただし二〇〇万円きざみでみると最頻値は一〇二〇〇万円のところにある。八〇〇万円未満がほぼ三分の一である。平均値の水準は上から三〇%の位置にある。五〇〇〇万円以上が一八%、一億円以上が六・三%となっている。

金融資産関係の分布は第6~8図に示されている。ま

第8図 貯蓄の純残高 (昭和59年)

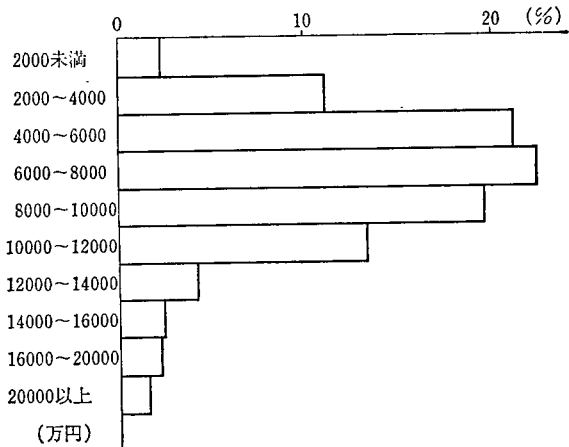


ず第6図は貯蓄現在高の分布(保有世帯のみ)であり、負債を考慮しないグロスタームの金額分布である。貯蓄ゼロの世帯が〇・七%ある。貯蓄を保有している世帯のみをとりますと、平均値が一〇〇万円強、中央値七六〇万円、最頻値は一〇〇万円のデータでは一〇〇万円台である。三〇〇万円未満が二二%ある一方、一〇

〇〇万円以上が四〇%、一五〇〇万円以上が二五%弱、三〇〇〇万円以上が五%となっており、ばらつきがきわめて大きい。中には一億円のオーダーをすでに超える金融資産を保有している世帯もある。なお金融資産の中身をみると、非保有者の割合は通貨性預貯金一七%、定期性預貯金九%、生命保険二二%、有価証券五六%となっている一方、保有世帯のみの平均残高(ただしカッコ内の数字は中央値)は通貨性預貯金九〇(五七)万円、定期性預貯金五三六(三六五)万円、生命保険一九〇(一三〇)万円、有価証券八三六(六〇〇)万円となっている。

第7図は負債現在高の分布(保有世帯のみ)である。負債を保有していない世帯の割合は六七%に及んでいる。保有世帯のみに着目すると、平均値二六四万円、中央値一〇〇万円、最頻値一〜二五万円(二五万円きざみ)である。二五万円未満が二五%、五〇万円未満が三六%いる一方、五〇〇万円以上が一五%、一〇〇〇万円以上が四%、二〇〇〇万円以上が一%ある。なお負債のうち土地・住宅のための負債を保有している世帯は全体の二〇%、その残高の平均値は三四三万円(中央値二一〇万

第9図 家計資産ストックの合計額 (昭和59年)



円)である。

貯蓄残高から負債残高を差し引いた貯蓄純残高の分布は第8図のようになっている。残高がマイナスになっている世帯が七・三%、一と三〇〇万円が二〇%強ある一方、一〇〇〇万円以上が三七%、二〇〇〇万円以上が一

五%、三〇〇〇万円以上が五%、それぞれある。右に示した資産項目をすべて合計した家計資産の分布が第9図である。三〇〇〇万円未満が八%、五〇〇〇万円未満が二四%ある一方、一億円以上が二四%、一億五〇〇〇万円以上が五%ある。二億円を超える世帯も一・六%ある。

二 高齢夫婦世帯の家計資産構成

つぎに家計資産階級別にその資産構成を調べることにしよう。第2表と第5表がその結果である。昭和五九年の段階で年金を受給している高齢夫婦世帯においては、家計資産における年金の重みがきわめて大きい。それは、全体として六〇歳代前半層で五三%、六〇歳代後半層で四六%、七〇歳代前半層で三七%、七五歳以上二六%となっている。この重みは平均値の水準(家計資産)でみたものであるが、年金のウェイトは一般に家計資産額が増大するにつれて低下するので、中央値での重みは右の数字よりもっと大きく、最頻値の水準では年金資産の重みがさらに増すことになる。なお年金資産は一般に家計資産が高額になるほど高くなる傾向にあるものの、家計

資産がある一定の水準に達するとほとんど伸びない。頭うちになる水準は年齢とともに下がっている。年金資産の上限は六〇歳代前半層では五〇〇〇万円台、六〇歳代後半層では四〇〇〇万円台、七〇歳代前半層では三〇〇〇万円台、七五歳以上では二〇〇〇万円前後であると考えて大過ないだろう。

家計資産の多寡を左右しているのは実物資産とくに土地保有額の大小のようである。家計資産一億円以上の場合、土地保有額は三〇〇〇万円超が一般的である。また家計資産一億円以上の階層では一般に三〇〇〇万円相当以上の賃貸用実物資産を保有している例が少なくない。なお土地保有額の分布はばらつきがきわめて大きいので、平均像を描いてみてもあまり意味はないが、土地保有額のウェイトは全体として六〇歳代前半層で二四％、六〇歳代後半層で二九％、七〇歳代前半層で三四％、七五歳以上で四一％となっている。言うまでもないが、中位の階層では家計資産全体に占める土地保有額の割合は右の数字よりさらに低い。

金融資産（貯蓄の純残高）のウェイトは全体として一五％前後で、年とともに一般には増大している。家計資産一億円以上の階層では貯蓄純残高二〇〇〇万円以上の世帯が少なくないようである。

耐久消費財ストックや住宅資産（建物のみ）の評価額は、他の資産項目とくらべると一般にそれほど大きくない。

なお第2表、第5表には参考のために、高齢夫婦世帯の年間収入、年金受給額（年間）、家賃・地代収入（年間）、利子・配当・キャピタルゲイン等の金融収益推計額（年間）、持家の帰属家賃（別途推計額、年間）、耐久消費財のサービスマン推計額（年間）、医療現物給付分推計額（年間）、消費支出月額、および持家の帰属家賃・耐久消費財サービスマン・医療現物給付・金融収益・支払利子等で調整した後の年間収入・消費支出月額の数字（いずれも平均値）を記載しておいた。

（一橋大学助教授）

（一橋大学助手）

第2表 高齢夫婦世帯の家計資産構成(60歳代前半層)

	資 産 階 級 (1000万円)									合計
	2未満	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12.5	12.5-15	15-20	20以上	
標本数	23	114	214	230	191	140	40	27	11	990
世帯数	14	64	122	128	113	85	24	18	9	576
構成比	2.4	11.1	21.1	22.3	19.5	14.8	4.1	3.1	1.6	100
年 収	198	252	336	351	426	491	548	825	802	398
年 収 A	268	337	467	511	633	738	831	1148	1464	582
消 費	12	15	18	20	25	30	27	46	32	22
消費 A	18	23	29	33	41	48	50	65	62	37
年 金	32	72	128	184	220	242	272	297	245	180
B	26	34	39	45	48	52	63	73	56	45
C	16	36	57	70	98	120	178	185	246	89
D		18	44	62	51	89	173	209	273	110
E	5	11	23	33	60	84	81	106	446	52
F	181	339	589	789	1343	1771	1914	2288	5598	1107
G	105	356	252	230	168	193	705	261	399	264
H	36	33	36	39	42	40	37	37	50	38
資産計	1501	2999	5001	6948	8934	11081	13666	16332	25525	7840
保有世帯比率	①	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	②	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	③	42.2	75.2	88.2	95.6	97.5	100	100	98.4	100
	④	42.2	76.5	88.2	96.1	100	100	100	100	100
	⑤		2.8	7.4	9.8	12.2	15.4	47.3	39.9	72.0
	⑥	95.9	98.9	99.7	100	99.4	99.5	85.8	100	100
平均保有額 I	①	1026	1881	3028	4252	5061	5633	5851	6499	5360
	②	85	109	125	147	159	171	208	241	189
	③	498	889	1219	1506	1985	2883	3234	5393	9484
	④	93	183	247	271	358	362	687	500	375
	⑤		501	909	1403	1112	1989	4408	5235	6398
	⑥	146	190	489	711	1292	1736	1864	2193	5511
平均保有	①	1026	1881	3028	4252	5061	5633	5851	6499	5360
	②	85	109	125	147	159	171	208	241	189
	③	210	668	1076	1440	1934	2883	3234	5309	9484
	④	39	140	218	261	358	362	687	500	375

(33) 年金受給世帯の保有資産とその構成

額	⑤	0	14	67	137	136	306	2086	2090	4606	341
	⑥	140	188	487	711	1285	1727	1599	2193	5511	1012
資産 構成 比	①	68.4	62.7	60.5	61.2	56.7	50.8	42.8	38.6	21.0	53.2
	②	5.7	3.6	2.5	2.1	1.8	1.5	1.5	1.4	0.7	1.9
	③	14.0	22.3	21.5	20.7	21.6	26.0	23.7	31.5	37.2	23.9
	④	2.6	4.7	4.4	3.8	4.0	3.3	5.0	3.0	1.5	3.7
	⑤	0.0	0.5	1.3	2.0	1.5	2.8	15.3	12.4	18.0	4.3
	⑥	9.3	6.3	9.7	10.2	14.4	15.6	11.7	13.0	21.6	12.9

資料) 総務庁『全国消費実態調査』(昭59)など。

注) A (概念調整後), B (耐久消費財サービスフロー), C (持家の棚賃家賃), D (家賃・地代収入), E (金融収益), F (貯蓄現在高), G (負債現在高), H (医療現物給付), I (保有世帯のみ), J (非保有世帯を含む), ①~⑥ (第1表と同じ), 単位 (世帯数1,000; 比率%; 金額万円), 以下同様。

第3表 高齢夫婦世帯の家計資産構成 (60歳代後半層)

	資 産 階 級 (1000万円)									合計
	2未満	2—4	4—6	6—8	8—10	10— 12.5	12.5 —15	15—20	20以上	
標本数	32	168	238	262	139	89	33	24	9	994
世帯数	23	104	108	168	86	64	26	25	7	640
構成比	3.6	16.2	21.5	26.2	13.4	10.0	4.1	4.0	1.0	100
年 収	234	232	291	333	415	514	488	662	738	356
年収A	315	350	441	515	656	794	810	1102	1193	554
消 費	12	15	16	19	22	25	23	33	26	19
消費A	19	25	28	34	39	45	44	65	54	34
年 金	58	101	156	193	228	245	241	230	183	178
B	26	31	32	40	43	51	48	53	70	39
C	13	40	58	76	109	118	132	260	199	88
D		25	52	60	61	113	113	188	448	116
E	6	14	25	39	66	100	136	153	192	51
F	177	384	604	916	1365	1955	2651	2727	3210	1070
G	231	175	113	146	156	151	127	145	299	150
H	53	52	53	51	54	60	64	50	62	53
資産計	1353	3027	4996	6996	8954	11163	13346	17391	25830	7258
保有 世帯 比	①	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	②	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	③	22.8	70.4	90.9	97.1	99.3	94.0	100	100	100
	④	22.8	71.5	93.5	97.7	99.3	98.5	100	100	100

率	⑤	4.9	5.5	9.5	16.8	38.0	47.8	34.7	100	14.9	
	⑥	100	98.3	98.1	99.7	100	99.1	100	100	99.1	
平均保有額 I	①	1027	1770	2857	3677	4218	4453	4514	4355	3709	3306
	②	81	103	105	131	142	172	164	186	229	129
	③	340	956	1340	2006	2723	3481	4413	7762	6992	2396
	④	66	166	209	236	311	275	259	609	327	253
	⑤		551	1076	1344	1469	2827	2820	5180	11489	2923
	⑥	153	342	572	885	1334	1940	2648	2681	3085	1037
平均保有額 J	①	1027	1770	2857	3677	4218	4453	4514	4355	3709	3306
	②	81	103	105	131	142	172	164	186	229	129
	③	77	673	1218	1948	2704	3272	4413	7762	6992	2132
	④	15	119	196	231	309	271	259	609	327	229
	⑤	0	27	59	128	247	1074	1347	1798	11489	434
	⑥	153	336	562	882	1334	1922	2648	2681	3085	1028
資産構成比	①	75.9	58.5	57.2	52.6	47.1	39.9	33.8	25.0	14.4	45.6
	②	6.0	3.4	2.1	1.9	1.6	1.5	1.2	1.1	0.9	1.8
	③	5.7	22.2	24.4	27.8	30.2	29.3	33.1	44.6	27.1	29.4
	④	1.1	3.9	3.9	3.3	3.4	2.4	1.9	3.5	1.3	3.2
	⑤	0.0	0.9	1.2	1.8	2.8	9.6	10.1	10.3	44.5	6.0
	⑥	11.3	11.1	11.2	12.6	14.9	17.2	19.8	15.4	11.9	14.2

第4表 高齢夫婦世帯の家計資産構成 (70歳代前半層)

	資産階級 (1000万円)									合計
	2未満	2—4	4—6	6—8	8—10	10— 12.5	12.5 —15	15—20	20以上	
標本数	55	197	174	114	66	35	22	11	6	680
世帯数	28	111	103	70	40	27	18	11	6	413
構成比	6.8	26.8	24.9	16.9	9.6	6.5	4.2	2.7	1.5	100
年収	157	205	304	351	405	541	576	761	992	335
年収A	278	373	510	581	678	869	885	1237	1446	558
消費	10	12	18	19	22	27	226	26	27	18
消費A	20	26	34	37	42	52	49	56	62	35
年金	68	121	181	221	264	241	199	336	217	181
B	18	26	33	38	42	48	39	39	49	34
C	28	46	65	83	105	144	151	221	267	83
D		20	45	63	79	117	179	233	522	121

(35) 年金受給世帯の保有資産とその構成

E	7	18	34	48	79	91	100	215	126	48
F	182	450	733	1071	1502	2100	1984	3548	2442	1001
G	150	205	141	103	96	806	442	600	659	205
H	87	92	93	87	86	96	80	87	91	90
資産計	1451	3198	4996	6941	8943	11214	13515	17273	26767	6407
保有世帯比率	①	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	②	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	③	52.9	90.9	96.5	100	100	100	100	95	100
	④	52.9	91.5	96.5	100	100	100	100	100	100
	⑤		10.4	14.6	19.7	36.2	35.1	67.0	44.0	100
	⑥	90.8	97.9	99.1	100	100	100	100	100	100
平均保有額 I	①	825	1466	2255	2920	3663	3371	2946	4136	2237
	②	61	84	110	128	144	162	130	137	166
	③	711	1150	1656	2342	2782	4159	5438	7111	9308
	④	108	161	202	213	240	316	219	533	347
	⑤		440	904	1457	1751	3249	4316	5294	12486
	⑥	146	418	712	1050	1476	2065	1890	3384	2223
平均保有額 J	①	825	1466	2255	2920	3663	3371	2946	4136	2237
	②	61	84	110	128	144	162	130	137	166
	③	376	1046	1598	2342	2782	4159	5438	6753	9308
	④	57	147	195	213	240	316	219	533	347
	⑤	0	46	132	287	633	1141	2892	2331	12486
	⑥	133	409	706	1050	1479	2065	1890	3384	2223
資産構成比	①	56.8	45.8	45.1	42.1	41.0	30.1	21.8	23.9	8.4
	②	4.2	2.6	2.2	1.8	1.6	1.4	1.0	0.8	0.6
	③	25.9	32.7	32.0	33.7	31.1	37.1	40.2	39.1	34.8
	④	3.9	4.6	3.9	3.1	2.7	2.8	1.6	3.1	1.3
	⑤	0.0	1.4	2.6	4.1	7.1	10.2	21.4	13.5	46.6
	⑥	9.2	12.8	14.1	15.1	16.5	18.4	14.0	19.6	8.3

第5表 高齢夫婦世帯の家計資産構成 (75歳以上)

	資 産 階 級 (1000万円)									合計
	2未満	2—4	4—6	6—8	8—10	10— 12.5	12.5 —15	15—20	20以上	
標本数	66	129	103	40	27	11	7	3	5	391
世帯数	34	78	64	28	19	8	6	4	4	246

構成比	13.9	31.9	26.1	11.5	7.8	3.3	2.5	1.5	1.5	100	
年 収	147	203	279	351	437	479	899	470	1428	299	
年収A	289	390	512	595	735	816	1350	841	1982	527	
消 費	9	13	17	19	21	21	19	27	45	16	
消費A	21	28	35	38	42	47	55	59	74	34	
年 金	88	156	209	187	234	265	211	219	213	177	
B	18	22	28	34	44	53	56	31	63	29	
C	29	52	85	91	107	188	251	263	221	84	
D	20	33	46	74	90	147	68	293	515	99	
E	7	21	41	61	102	79	211	52	318	48	
F	182	486	822	1241	1764	1674	2541	2001	5693	923	
G	412	71	67	376		113	291			184	
H	105	105	102	95	95	87	114	106	92	102	
資産計	1308	3032	4817	6820	8786	11199	13786	16953	26981	5040	
保有世帯比率	①	95.6	98.8	100	100	100	100	100	100	99.0	
	②	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	③	70.2	93.8	94.2	100	100	100	100	100	92.4	
	④	70.2	94.6	98.2	100	100	100	100	100	93.6	
	⑤	1.4	14.9	17.1	43.4	67.3	38.2	27.4	29.1	100	23.5
	⑥	94.1	93.6	98.9	100	100	100	100	100	100	96.8
平均保有額I	①	580	1038	1587	1610	1954	2581	1492	1914	2477	1357
	②	62	76	94	116	153	182	181	105	213	98
	③	674	1262	2021	2883	3176	4958	8429	10236	6492	2320
	④	125	190	246	197	292	403	682	262	345	232
	⑤	401	793	1086	1867	2149	3728	1870	8356	11762	2388
	⑥	132	481	814	1205	1764	1651	2489	2001	5693	906
平均保有額J	①	555	1025	1587	1610	1954	2581	1492	1914	2477	1343
	②	62	76	94	116	153	182	181	105	213	98
	③	473	1184	1904	2883	3176	4958	8429	10236	6492	2143
	④	88	179	241	197	292	403	682	262	345	217
	⑤	6	118	185	809	1447	1424	512	2434	11762	561
	⑥	124	451	805	1205	1764	1651	2489	2001	5693	878
資産構成比	①	42.4	33.8	32.9	23.6	22.2	23.0	10.8	11.3	9.2	25.6
	②	4.7	2.5	1.9	1.7	1.7	1.6	1.3	0.6	0.8	1.9
	③	36.2	39.0	39.5	42.3	36.1	44.3	61.1	60.4	24.1	40.9
	④	6.7	5.9	5.0	2.9	3.3	3.6	5.0	1.5	1.3	4.1
	⑤	0.4	3.9	3.9	11.9	16.5	12.7	3.7	14.4	43.6	10.7
	⑥	9.5	14.9	16.7	17.7	20.1	14.7	18.1	11.8	21.1	16.8